

# 幡多希望の家

◆◆ No.1 ◆◆ 夏号 ◆◆



医療型障害児入所施設  
療養介護事業  
幡多希望の家

TEL(0880) 66-2212 FAX(0880) 66-2215  
HP・http://www.gallery.ne.jp/~hatakibo/index.html  
Mail・hataki01@mb.gallery.ne.jp  
<発行所>〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山 867 番地  
<発行日>2016年7月20日



ごあいさつ

理事長の宝物の似顔絵

を目指しております。但し開設19年をむかえ、利用者様の高齢化や重度化する介護度をみると、法人運営、施設整備の中長期計画づくりが求められます。

今日進められています社会福祉法の全面的な改定と調整運動させ乍ら、利用者・家族・職員の笑顔と生きる喜びがこだまする施設運営を目指してまいりますので、旧に倍するご指導をお願いし、ご挨拶といたします。

社会福祉法人  
幡多福祉会  
理事長 小椋 茂昭

2016年4月1日より社会福祉法人幡多福祉会  
幡多希望の家の理事長に就任する事となりました、小椋茂昭です

顧みますと21年前、幡多地域の親の会をはじめとする関係者の切実な願いを、土佐希望の家理事長山崎勲様（当時）が受けとめて下さりその英断によつて、幡多の地に重症心身障害児（者）の施設が開設されることとなりました。

以来、法人理事の一人として地域の方々に支えられた施設づくりのために「幡多希望の家」を支援する中村の会の呼びかけ人となり中心となつて、幡多の児は幡多で・・・より親や家族様の近くでの訴えは共感をよび、燎原の火の如く広まり、約1億円の浄財が地域の方々より寄せられ開設され来年20年の節目の年となりこの間のご厚情に、理事長就任にあたり心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

開設当初の入所者中心の施設運営から、今日では在宅の方々への訪問・通園等々、地域で暮らす方々へのニーズにこたえる活動を通じ、幡多地域における重症児（者）へのセンター的役割

まして私は前施設長を10年近く勤めていた長岡先生の後任として、平成28年5月1日から施設長の重責を引き継ぎました山本洋と申します。出身は生まれも育ちも岡山県備前市です（自宅で産婆さんに取り上げていただいたようです）。備前市は焼き物の町として有名な所ですが、私が生まれ育ったのは備前市の東端の三石という町です。中学までは地元でしたが、高校大学は岡山市内で過ごしました。昭和58年3月に岡山大学を卒業して医師になり、昭和59年の8月から1年間高知県立中央病院で研修を受けました。その後兵庫県西播磨の相生市立市民病院、赤穂市立市民病院で内科、麻酔科の研修を受けました。備地での在宅医療を希望して平成9年1月から幡多郡大正町田野々診療所、町村合併してしまった。平成11年7月から、岡山市の病院でガン末期の患者さんのケアをする緩和ケア

までは益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

初夏の候。皆様におかれましては益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

幡多希望の家  
施設長便り  
第1号



幡多希望の家  
施設長便り  
第1号

勤務し、その間に父を自宅で看取りました。昨年4月に高知県に帰り、四十町大西病院で勤務して、この度縁があつて幡多希望の家に勤務させていただくことになりました。専門は内科、麻酔科、緩和医療ですが、特に痛みの治療を中心に行なうを続けてきました。

この施設に入所されている方々が患っている疾患に関しては正直今まで、医師として関わることはほとんどありませんでした。内科の医者がこの施設でお役に立てるのだろうかと悩みましたが、長岡先生はじめいろいろな先生に相談した結果、大丈夫だからと背中を押して頂きました。先日大阪で施設長会議がありました。そこで、それぞれの施設に入所されている方々の高齢化の問題は大なり小なりあるようです。現在、幡多希望の家に入所されている方々の平均年齢は46歳になります。

つており、最高齢者は85歳の方が二人おられ、20歳未満の方はお一人だけというのが実情です。それなら、今後入所されている方に出てくることが予想される成人病に対する心配を決断しました。とは言え今までと違ひ、自分から訴えることが出来ない方がほとんどですから、よほど日ごろからのコミュニケーションを大事にしていないと、病状が変化しても気が付かないことになると気を引き締めています。幸い希望の家は開設してから今年が19年目になり、職員の方々はベテランの方が多く、非常に心強く思っています。施設の沢山の職種の方々と協力して利用者の方が安心して利用して頂けるよう、そして保護者の方々の大切なご家族の一員の方を安心してお預けいただけるような施設の運営をしていきたいと思います。そしてこの幡多地域の福祉の拠点の一つとしての役割を果たして行けるように、またこの中山地区の一員としての役割を果たしていく様にがんばって行きたいと思いますので宜しくお願ひいたします。

幡多希望の家  
施設長 山本 洋

## 生活介護

# さくらんぼホーム



さくらんぼホームは、在宅の重症心身障害者の方等を対象としたサービス事業所です。（定員10名）

提供日時は、月曜日～金曜日（土・日、祭日、年末年始～休業日）の10時～15時の間で、入浴や取り組み（音楽や感覚遊び、スヌーズレン等）・食事の提供等を行っています。必要に応じて送迎サービスも行っています。



特に季節ごとの取り組み（初詣や花見外出、プール活動・出張クリスマス等）に力を入れ、利用者の方の障害特性に合わせたサービスの提供を心掛けています。

## さくらんぼ7月行事予定

夏祭り	7夕 （浴衣姿の写真撮影等）	4日～8日
プール	18日～8月中旬予定	

## 第18回 幡多希望の家祭



4月25日、創立記念のイベントとして、「第18回　幡多希望の家祭」が開催されました。

オープニングはハイク

ラソーナ・ウインド・アン

サンブルさんの演奏。開始早々に小雨が降り、利用者の方々がステージ近くに集まることが出来なくなつたため、施設内からの参加となつたのですが、演奏が始まると手拍子や元気な歌声も聞かれ、一安心しました。

午後からは、雨足の強まる中、土佐中村一条太鼓さんの力強く美しい演奏が見る人を感動させてくれましたし、利用者の方とご家族コンビの出し物あり、ななさと会さんのギター演奏ありで、大いに盛り上りました。さらに、今回のメインイベントである「夢抽選会」は『選ばれし利用者の方の夢を可能な限り叶える』というもので、くじを引くたび会場から歓声が上がり、その結果3名の方が

幡多希望の家祭 実行委員長 山本 芳隆



※今回は  
「ポリ袋で作る非常食セミナー」  
を行いました。



## 地域の方々との 合同防災訓練

## 外出できました！



事業内容は、未就学児対象の児童発達支援事業と、小学生～高校生対象の放課後等デイサービス事業で、利用提供日時は、火曜日～土曜日の9時～17時30分（金曜日のみ18時まで）となっています。定員は事業所ごとに10名とし、1回を40分～1時間で区切つて、利用者の方の発達段階に応じたSST（社会生活技能訓練）等の療育を個別または集団で行っています。

まだまだ新しい事業所ですが、日々、試行錯誤しながら頑張っています。



幡多希望の家 施設長補佐	山本 毅
デスク	山本
キヤツブ	柳谷
那須ゆ	沖
沖	安田
安田	永富

## ちょっとひとこと

母から娘に  
「あのよ～、お母さんもお父さんもあんたに色々買うてあげたいがやけんど、金欠病ながよ～、ごめんね」  
娘ボソッと・・・  
「けんみん病院行けばええやん」

## 給食紹介

- ・リゾット風雑炊
- ・鮭ムース
- ・半熟風オムレツ
- ・豆腐バーグ
- ・肉じゃが(おかずゼリー)
- ・まるで果物のようなゼリー
- ・●ブロッコリ  
青じそドレッシングかけ  
人参の甘煮

